**本プレスリリース内に登場した用語について**

以下に本プレスリリース内に登場した用語のうち、専門的な用語について以下に簡易な説明を記載しております。記事執筆などの際にご利用ください。

- PCI DSS：Payment Card Industry Data Security Standard
  加盟店やサービス・プロバイダーにおいて、クレジットカード会員データを安全に取り扱う事を目的として策定された、クレジットカード業界の国際的なセキュリティ基準です。カード情報を保存、処理、または伝送する企業であるカード加盟店、銀行、決済代行など行うサービス・プロバイダーが、年間のカード取引量に応じて、PCI DSS 準拠する必要があります。また日本国内では割賦販売法と同法に基づくクレジットカード・セキュリティガイドラインにおいてカード情報の保持する場合には PCI DSS への準拠が求められています。2021 年末にバージョン 4 がリリースされる予定となっています。
- PCI SSC：Payment Card Industry Security Standards Council
  もともと個別のリスク管理プログラムを運営していた国際カードブランド 5 社(American Express、Discover、JCB、MasterCard、VISA)が共同で設立した組織で、PCI DSS などのペイメントカード（クレジットカード）にかかわる各種セキュリティ基準を策定・運用しています。
- PFI：PCI Forensic Investigator
  カード情報漏洩事故・事件においては、ペイメントカードの国際ブランドが中心となって設立された PCI SSC の定める手順・品質水準で事件・事故調査を行う必要があります。PFI はこの PCI SSC が定める手順・品質水準で事件・事故調査を行う調査員と調査機関を指し、調査員については PCI SSC による認定、調査機関については PCI SSC への登録が必要です。2021 年 5 月 6 日現在、調査機関については世界で 22 機関が登録しています。
- フォレンジック調査
  法執行機関による捜査や法的対応に必要なデジタルデータを法的に有効な方法で保全し、調査・分析を行うことを指します。
- CPSA：Card Production Security Assessor
  ペイメントカード（クレジットカード）の製造業者とプロビジョニング業者を対象としたセキュリティ基準に準拠状況を審査する評価人と評価機関を指します。いずれも PCI SSC による認定が必要とされています。2021 年 5 月 6 日現在、評価機関については世界で 20 機関が登録されています。
- プロビジョニング業者
  クレジットカード製造におけるデータの準備、カードのパーソナライズ、PIN の生成、PIN メーラー、配布などのカード製造にまつわる事業を行う事業者を従来は指してい

ましたが、モバイル決済が一般的となった現在ではモバイル決済におけるアプリケーションの提供やクレジットカード情報の送受信を行う事業者も含まれるようになっています。

- PCI P2PE：PCI Point-to-Point Encryption
  クレジットカード情報を安全に加盟店からアクワイアラに伝送することを目的としたプログラムで、クレジットカード読み取り機からプロセッサのサーバまでの全ての経路で暗号化を行い、安全に通信する為に PCI SSC が定めたセキュリティ基準です。
- PCI 3DS
  インターネット上でのクレジットカードによる取引時の本人認証に欠かせない、3D セキュアを利用した本人認証サービスに関する PCI SSC が定めたセキュリティ基準です。
- QSA：Qualified Security Assessors
  PCI SSC に認定された PCI DSS 準拠の評価を行う人を指します。
- QSAC：Qualified Security Assessors Company
  QSA が在籍し、かつ PCI SSC に認定された PCI DSS 準拠の評価を行う企業を指します。
- 2020-2022 Global Executive Assessor Roundtable
  PCI SSC が定める PCI 評価プログラムとペイメントカードのセキュリティ問題について情報を収集し、評価人の増強と新興市場への関与を高めることを目的とした円卓会議です。2 年ごとに QSAC のシニアエグゼクティブからメンバーが指名されます。現在 BBSec は 2020 年から 2022 年の任期で当会議のメンバーとなっています。
- ペネトレーションテスト
  実際のサイバー攻撃が依頼もとに対して成立するかどうかを試行するテストを指します。詳細や脆弱性診断との違いについては、弊社で脆弱性診断やペネトレーションテストを実施している部門のウェブサイトに解説記事がありますので、そちらをご覧ください。ペネトレーションテストとは？https://www.sqat.jp/tamatebako/6554/
- CSIRT：Computer Security Incident Response Team
  CSIRT（シーサート）は、企業や各種法人の社内ネットワーク、社内システムにおける主にセキュリティ上の問題を発見し、対応する組織を指します。企業・法人内の「セキュリティインシデント消防署」ともいわれ、通常時の訓練や情報収集、トラブル情報の集約や教育による再発防止、対外交流による脅威情報の収集、有事の際の対応などを行います。
- SOC：Security Operation Center
  SOC（ソック）は 24 時間 365 日体制で企業や各種法人の社内ネットワーク、社内システムのセキュリティ監視を行う組織を指します。